Junco（ジュンコ）&Cheep（チープ） 悲しいことは数あれどライブツアー2009

元ＬＯＯＫのサックス奏者Cheep広石さんと千歳在住の歌手Juncoさんが結成した新ユニット「Junco＆Cheep」のライブツアーです。

Junco

Cheep広石

日　　時：４月17日（金）　　会　　場：文化交流センター
出　　演：Junco（歌・ピアノ）　Cheep広石（歌・サックス・ギター）
主　　催：小平町文化交流センターサポーターズクラブ
後　　援：小平町教育委員会／北海道新聞／ＦＭノースウェーブ
企　　画：株式会社ディーエムジェイ
チケット：招待券を配布します
チケットセンター
小平町文化交流センター・鬼鹿支所・達布支所・小平セブンイレブン
鬼鹿ローソン・吉崎レコード店・さしかわ楽器店・ビューネ
ＦＭもえる・留萌管内公民館など

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

担　　当　文化交流センター（金子）

スポーツ安全保険のおすすめ

この保険は、スポーツ・文化・ボランティア活動、地域活動を行う５名以上のグループが対象です。

【補償対象となる事故の範囲】　●団体活動中の事故　　●往復移動中の事故

【保険有効期間】　平成21年４月１日から平成22年３月31日まで（途中加入も可能）

加入対象団体	掛金（人／年）	障害保険（保険金額）				賠償責任保険（限度額）	共済見舞金
		死亡	後遺障害	入院（日）	通院（日）		
○子どもの団体（中学生以下）	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 １人　１億円 １事故　５億円 財物賠償 500万円	急性心不全・脳内出血等突然死180万円
○文化・ボランティア活動（高校生以上）	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
○成人のスポーツ団体（高校生以上）	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
○成人のスポーツ団体（65歳以上）	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		

※上記以外にも保険加入区分がありますので、問い合わせて下さい。

＊＊

担　当　文化交流センター（金子）、海洋センター（木村）

小平郷土資料通信 No. 44

北海道、下の句かるたの文化史（試論）

「かるた」は、実はポルトガル語「carta」から取り入れられた外来語で、英語のcardにあたります。百人一首は元来ハマグリの貝殻に上の句、下の句を書いてあわせた数を競う「貝覆（かいおおい）」という遊びが親しまれていましたが、16世紀ポルトガル人による「かるた」の流行をみた京都の公家たちは、百人一首の素材を「貝」から「紙」に変えて現在のようなかたちになったと言われています。

さて、私たちが親しんでいる「下の句かるた」は、北海道独自の百人一首文化です。全国で一般的に行われる百人一首は「上の句」を読み、紙製でわかりやすい楷書体で「下の句」が書かれた取り札を使うのに対し、「下の句かるた」は「下の句」を読み、木製で判別が難しい仮名交じり行書体で「下の句」が書かれた取り札、いわゆる「板かるた」を使うという違いがあります。全国的に見て現在「板かるた」を使っているのは北海道だけですが、博物館資料の中には福島県会津地方で使われた「板かるた」が所蔵されており、「板かるた」は会津地方など木材の豊富な山間部から伝来したと考えられています。「下の句かるた」の「上の句」を読まないという伝統も、読むのが難しい「板かるた」ならではの遊び方です。楷書体の紙の取り札ではいとも簡単になってしまいます。独自の遊び方、道具で受けつがれる「下の句かるた」、守りたい伝統です。

（上）「下の句かるた」の取り札
木製で下の句を仮名交じりの行書体で散らし書きするのが特徴。
（下）全国的に流通する百人一首の取り札
紙製、楷書体のわかりやすい文字で書かれる。

４月の古文書解読講座の予定
14日（火）に実施します